

実行委員会ニュース

「美しい自然と広大な大地」での建交労フェスタ!全国の仲間と交流を

2018年5月10日

発行：北海道フェスタ実行委員会・建交労中央本部

〔第4号〕

締め切り迫る!5月25日(金)が最終です!

北海道フェスタ参加申込み状況、現在198人!

建交労フェスタ in 北海道の開催日まで、残すところ約一ヵ月となりました。現在(5月10日)の参加申込み状況は、東北・福島で大きく前進し、九州で目標の3倍に達したことなどが影響して198人となりました。他の組織でも目標に近づけていただき大変奮闘していただいている状況です。

北海道フェスタの参加申込みの最終集約期日が5月25日に迫る中、続々と申込みをいただいています。県本部単位で見ると21都道府県本部(青森、山形、栃木、埼玉、千葉、山梨、新潟、富山、福井、岐阜、三重、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、岡山、山口、愛媛、高知)で申込みをいただいている状況となっています。中央執行委員が所属する県本部からの参加申込みが届いていない状況にもなっていることから、早期にお送りいただきますよう再度呼びかけます。

＜北海道フェスタ参加申込み状況 2018年5月10日現在＞

来週中にはおおよその規模を確定させ、各施設への一定の報告が求められています。現在検討中あるいは確定している組織は早期に参加申込みをいただきますようかさねてお願いいたします。

地協	参加目標	申込人数	地協	参加目標	申込人数
北海道	100		近畿	30	23
東北	50	38	中国	20	7
関東	50	16	四国	20	14
北信越	30	15	九州	20	62
東海	30	14	常執等	30	9
合計				380	198

オプションツアー申込み状況を確認してください!

また、フェスタにおけるオプションツアーは、多数申込みのあったA.小樽での自由散策が予定数を大幅に超えたことから増便をいたしました。しかしながら、大型バス2台に増便しましたが、まもなく小樽での自由散策コースは閉め切りとさせていただきます。

その他の青年セミナー及びアサヒビール北海道工場見学、豊平峡ダム・定山溪ダムハイキングコースは、まだ余裕がありますがこちらも早期にお申し込みをいただきますようお願いいたします。

＜オプションツアー参加申込み状況 2018年5月10日現在＞

コース名	定員数	申込人数	定員残り
青年セミナー	100	43	57
A.小樽での自由散策	100	93	7
B.アサヒビール見学	100	22	78
C.ダムハイキング	50	17	33

青年部が主催する青年セミナー

小林多喜二 たたかいの足跡を知る小樽ツアー

建交労フェスタ in 北海道で開催する青年セミナーは、過酷な搾取を、国家・財閥・軍隊との全体的な関係でとらえ、未組織労働者の自然発生的な闘争を生き生きと描いたスケールの大きな作品「蟹工船」などに代表される、北海道小樽で育った小林多喜二の足跡を知る小樽ツアーを実施します。

今回、「小林多喜二 たたかいの足跡を知る小樽ツアー」には、現地の小林多喜二祭実行委員会の方々の全面的な協力のもと、ツアー内容を詳細にまとめていただきました。定山溪ビューホテルから小樽へ向かう車中では、小樽観光のポイントや多喜二文学のレクチャーをはじめ、各施設での説明等もおこなっていただきます。

半日でおこなう小樽ツアーでは、多喜二の「育った」街を見て、聞いて、感じるなど通常では体験できない特別な内容になっています。ぜひこの機会に多くの青年組合員を送り出してください。青年セミナーは40歳代まで幅広くご参加いただけます。小林多喜二の著書や映画など、これまで触れてこなかった方にも興味をもっていただき、今後の労働運動に役立てていただく一躍になればと考えています。

また、多喜二ツアーの後は、小樽運河など古き良き町並みで、北海道を代表する観光スポットを自由に散策していただける時間を設けています。多くの青年の参加をお待ちしています！

建交労フェスタin北海道2018青年セミナー

小林多喜二 たたかいの足跡を知る小樽ツアー【概要】

項番	ツアーポイント	説明等
1	定山溪ビューホテル発	車中にて小樽観光ポイント・多喜二文学のレクチャー
2	②③小樽築港駅・⑤潮見台小・⑥三つ星パン屋前を通過	車中で説明
3	表紙の多喜二文学碑・旭山展望台	地獄坂を經由。多喜二文学碑前で記念写真
4	文学碑・旭山展望台発、	⑮遠藤邸前、⑭小樽警察署前、⑬小樽駅前を通過
5	岩城ビル跡で下車、以降徒歩で多喜二の小説の舞台を見物 ⑭岩城ビル、⑮都会館、⑯海員会館、⑰海上生活者新聞跡、⑱本願寺説教跡、⑲磯野進商店跡、⑳出抜き小路まで歩く。 小樽倉庫(運河プラザ)で小休憩。	
6	小樽倉庫(運河プラザ)横、道道臨港線でバスに乗車、旧日本郵船へ	
7	㉑日本郵船で下車、徒歩で、多喜二作品の舞台㉒北海製罐と㉓北運河を見物。	
8	日本郵船前でバスに乗車し、色内の銀行・問屋街を通り㉔拓銀小樽支店前を經由し、㉕手宮線色内駅、㉖小樽文学	
9	小樽文学館多喜二コーナー見学	
10	小樽文学館でバス乗車	
11	堺町通り商店街入り口で下車	堺町通り散策、買い物等観光タイム
12	北一硝子観光バス駐車場出発	
13	定山溪ビューホテル到着	